

Ⅰ 目指す学校像（基本理念）

- 生徒一人ひとりが、あけぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」を持ち、地域に貢献し、地域から信頼される学校を目指す。

Ⅱ 現状と課題

- 生徒の授業に取り組む姿勢や集会での態度は向上しつつある。しかし学校や社会のルールを守る規範意識に課題を持つ生徒、学習活動上で中学校までに様々なつまづき体験を持つ生徒も見られる。基礎学力の定着・基本的生活習慣の確立・体力の向上により社会で生きていく力を育むとともに、部活動や資格取得に積極的にチャレンジし、達成感と自信を得る取り組みが大切である。
- 地域社会での本校への評価は年々良くなっている。地域との交流・協創活動を更に活性化し、地域から学び、また地域からの理解・支援・信頼を得ることで、生徒一人ひとりが自信と誇りを持てるような取り組みが求められる。
- 様々な課題を持つ生徒に対して、保護者・地域・関係機関等と連携を図り、きめ細かな教科指導・生徒指導を行っている。一方で勤務時間終了後も遅くまで学校に残り仕事に追われる教職員もいる。教職員が心身ともに健康で、やりがいを持って職務を遂行できる職場環境を構築する必要がある。

Ⅲ 中長期的な重点目標

- 1 生徒に基本的生活習慣の確立や部活動・資格取得等への積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力・体力を向上させ、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。
- 2 情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。
- 3 学校行事・会議・部活動等の精選・見直しも含め総勤務時間の縮減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。

Ⅳ 本年度の計画

- | |
|--|
| 1 生徒に基本的生活習慣の確立や部活動・資格取得等に積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力・体力を向上させ、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。 |
|--|

（1 学年）

- （1）部活動・資格取得へのチャレンジを推奨する。

【取組状況の指標】○集会・ホームルーム等で部活動・資格取得への挑戦を奨励する。

【達成状況の指標】○部活動加入者、各種資格の受験者数が昨年度を上回る。

（2 学年）

- （1）遅刻、頭髪・服装指導を徹底する。

【取組状況の指標】○学年団の意思統一の下で徹底した指導を行う。

【達成状況の指標】○遅刻数、頭髪・服装の指導数が昨年度を下回る。

- （2）部活動の活性化と資格取得を奨励する。

【取組状況の指標】○ホームルームや授業等を通じて、部活動への加入、資格取得の挑戦を奨励する。

【達成状況の指標】○部活動加入者、資格取得の受験者数が昨年度を上回る。

(3) 生徒一人一人の進路意識の高揚を図る。

【取組状況の指標】○面談や進路行事、授業などあらゆる機会を通じて、一人一人に明確な進路意識を持たせる。

【達成状況の指標】○「生徒アンケート」の進路指導に関する満足度が80以上。

(3学年)

(1) 希望進路実現できるよう生徒の意識づけを図る。

【取組状況の指標】○進路ロングホームルームを持ち、進路実現に向けた基礎学力向上への意識づけを行う。

【達成状況の指標】○7月までに3回以上。

(2) 生徒の基礎学力を向上させる。

【取組状況の指標】○ロングホームルームやショートホームルームの時間等を利用した基礎学力演習を行う。

【達成状況の指標】○模試前のホームルーム学習を3回実施。

(3) 希望進路実現できるように具体的に取り組む。

【取組状況の指標】○面接練習等を行い、相手の質問を正確に聞き取り、自分の意見を言えるようにする。

【達成状況の指標】○学年での面接練習を7月までに3回以上。

(教務部)

(1) 生徒の実態に即した授業改善を目指し、「なかみ」の指導を充実させる。

【取組状況の指標】○授業公開や授業研究に係る研修会を複数回実施する。

【達成状況の指標】○教職員アンケートの授業力向上に関する満足度が昨年度を上回る。

(2) 教科担任・ホームルーム担任との連携を密にし、授業規律を高める。

【取組状況の指標】○連携を密にし、組織的に取り組む。

【達成状況の指標】○「教職員アンケート」の授業規律に関する達成度が昨年度を上回る。

(生徒指導部)

(1) 遅刻指導に向けて取り組む。

【取組状況の指標】○遅刻指導を行い、規則正しい学校生活を励行させる。

【達成状況の指標】○遅刻総数が昨年度比-20%。

(2) 「そとみ」の指導に取り組む。

【取組状況の指標】○頭髪服装指導を行い規律に則った学校生活を励行させる。

【達成状況の指標】○違反総数が昨年度比-20%。

(3) 生徒に社会性を身に付けさせる。

【取組状況の指標】○問題行動に対する防止指導を行い、社会性を身に付けさせる。

【達成状況の指標】○特別指導件数・生徒数が昨年度比-20%。

(進路指導部)

(1) 進学・就職内定100%を目指す。また、何も決めずに卒業していく生徒2名以下とする。(昨年度は4名)

【取組状況の指標】○7月の保護者面談時に全員が希望しているかどうかを把握する。

【達成状況の指標】○卒業時時点での進路結果。

(2) 1・2年生に対する年度初めの進路講話、年度途中の進路講話には、基本的生活習

慣の確立、部活動・資格取得がどう進路選択につながるかという話を必ず入れる。
全生徒に対して、進路講話の中で頭髪指導や服装指導が進路選択にどうつながっているのかという話を入れる。

【取組状況の指標】○各回の進路講話に上記の内容の話を入れる。

【達成状況の指標】_____

(3) 進学後も就職後も、基礎学力は一生必要であることや社会に出るにはコミュニケーション能力が必要なことを進路講話や日頃の生徒との会話に入れる。

【取組状況の指標】○各回の進路講話に上記の内容の話を入れる。

【達成状況の指標】_____

(4) 基礎学力の定着度合いを年度初年度に行う全学年のテストで測る。その結果を全職員で共有することにより、職員に意識付けをするとともに、各教科での基礎学力の定着に向けての授業を再検討してもらう機会とする。また、中間考査の得点分布を分析し、その結果を各教科に還元し授業改善の一つの機会として提供する。

【取組状況の指標】○年度初めのテストの実施・学習会を実施する。中間考査の得点分布のデータ処理をして各教科へ配布する。

【達成状況の指標】○各教科における授業改善の実施。

2 情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。

(学校運営)

(1) 中学校訪問を積極的に行い、本校の現状を話すことによって情報発信を行う。

【取組状況の指標】○訪問を予定する中学校数(昨年度は亀山・鈴鹿・四日市・松阪地区)。

【達成状況の指標】○自発的に中学校訪問する教職員数が昨年度を上回る(前年度6名)。

(1学年)

(1) 学年通信を発行し、保護者に学校での生徒の様子を伝える。

【取組状況の指標】○学年通信を発行する。

【達成状況の指標】○月2回以上の発行。

(2学年)

(1) 地域への情報発信を積極的に行い、交流を進める中で教育活動の活性化を図る。

【取組状況の指標】○地域への情報発信の際に学年の情報を掲載する。学校行事や授業等を通じた地域交流を推進する。

【達成状況の指標】○学校通信への学年情報の必掲。

(3学年)

(1) 学年通信を発行し、保護者に学校での生徒の様子を伝える。

【取組状況の指標】○学年通信を発行し、保護者に生徒の様子や進路情報を伝える

【達成状況の指標】○年12回、平均月1～2回の発行。

(2) 学年で保護者の要望など情報共有を図る。

【取組状況の指標】○学年別懇談会、保護者会、家庭連絡から把握した保護者の要望などを学年で共有する。

【達成状況の指標】○学年会で情報交換の実施。

(進路指導部)

(1) 求人開拓や事業所への挨拶で相手方へ訪問した際に、本校の取組や成果を話すこと

によって情報発信を行う。

【取組状況の指標】○事業所訪問の件数。

【達成状況の指標】○成果や取組を話せた事業所の件数。

(人権教育)

(1) 人権だよりを発行し、人権に関する話題や情報を提供するとともに、学校での生徒の様子や学習内容等を伝え、家庭での話し合いのきっかけを作る。

【取組状況の指標】生徒及び保護者を対象として人権だよりを発行する。

【達成状況の指標】人権だよりを年間6回以上発行。

3 学校行事・会議・部活動等の精選・見直しも含め総勤務時間の縮減を図り、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるよう努める。

(学校運営)

(1) 教職員のワーク・ライフ・バランス改善の取組を推進する。

【取組状況の指標】全教職員の定時退校日を設ける。また、年休取得を奨励する。

【達成状況の指標】定時退校日を年7回(定期考査と長期休業中に各1回)以上。
年休取得数10日以上。

(2) 勤務時間の縮減だけにとどまらず、取組において若い教職員が意見を言って、動ける場所を提供する。

【取組状況の指標】 _____

【達成状況の指標】○教職員の満足度調査(仕事のやりがい)の向上。

(3) 入学時における保護者・生徒のアンケート結果に基づき、今後推し進めるべき学校改善や改革を行う。本年度は系列の見直し・充実について検討する。

【取組状況の指標】○アンケート結果集計・分析、アンケート回収率。委員会の設置・回数・見直し・充実の計画の作成。

【達成状況の指標】○検討の結果、どのような成果をもたらしたか。

(進路指導部)

(1) 進路指導部主導で8月に行っていた全職員による就職希望者の面接練習を取りやめ、学年主導による9月上旬に行う面接練習に時間をかける(8月では校内選考前で受験先がはっきり決まっていない状態であるので、成果があまり期待できないため)。

【取組状況の指標】 _____

【達成状況の指標】○年度末時点で判断する。

(2) 2学年が行っていた工場見学を取りやめる。(それぞれの進路に見合った場所を見学できず、効果が薄いため。)

【取組状況の指標】 _____

【達成状況の指標】○年度末時点で判断する。